



2024年10月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年9月13日

上場会社名 株式会社AB&Company 上場取引所 東
コード番号 9251 URL <https://ab-company.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市瀬 一浩
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 駒田 道洋 TEL 03 (4500) 1383
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第3四半期の連結業績 (2023年11月1日～2024年7月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第3四半期	13,511	7.7	1,369	△6.1	1,255	△8.1	865	△5.3	865	△5.3	868	△4.8
2023年10月期第3四半期	12,543	42.4	1,459	52.2	1,366	51.8	914	50.4	914	50.4	912	49.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第3四半期	60.72	60.47
2023年10月期第3四半期	60.65	60.21

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年10月期第3四半期	24,910	8,261	8,261	33.2
2023年10月期	24,469	8,691	8,691	35.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	-	0.00	-	28.07	28.07
2024年10月期	-	0.00	-	-	-
2024年10月期 (予想)	-	-	-	28.07	28.07

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年10月期の連結業績予想 (2023年11月1日～2024年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,243	8.6	2,000	10.8	1,840	9.4	1,210	7.8	1,210	7.8	80.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年10月期3Q	15,153,714株	2023年10月期	15,153,714株
② 期末自己株式数	2024年10月期3Q	1,001,055株	2023年10月期	103,755株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年10月期3Q	14,260,454株	2023年10月期3Q	15,074,368株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は 監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。また、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(要約四半期連結損益計算書)	7
(要約四半期連結包括利益計算書)	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化に伴って国内消費に力強さが戻るとともに、企業における賃上げや価格転嫁の動きが定着しつつあり、景気に緩やかな回復傾向が見られました。

一方で、ロシア・ウクライナ情勢及びイスラエル・パレスチナ問題の長期化により、国際情勢は依然として不安定な状態にあり、円安による原材料価格やエネルギーコストの高騰を背景として消費者物価に上昇圧力が存在するなど、景気の先行きに関しては不透明な状況が続いております。

(売上収益、売上原価、売上総利益)

売上収益は、前第3四半期連結累計期間比967百万円増加し、13,511百万円(前年同四半期比7.7%増)となりました。直営及びフランチャイズ店舗の積極的な新規出店が主因で、各セグメントにおける売上収益が増収となりました。前第3四半期連結累計期間比で直営美容室運営事業が700百万円、フランチャイズ事業が336百万円、インテリアデザイン事業が118百万円、それぞれ増収となりました。

売上原価については、新規出店及びインボイス制度導入(経過措置適用)が主因で、前第3四半期連結累計期間比で557百万円の増加となり、7,092百万円(同8.5%増)となりました。

この結果、売上総利益は前第3四半期連結累計期間比409百万円増加し、6,418百万円(同6.8%増)となりました。

(販売費及び一般管理費、その他収益、その他費用、営業利益)

販売費及び一般管理費は、直営及びフランチャイズ店舗の積極的な新規出店に伴う固定費の増加や、事業拡大に伴う人員の増加等により前第3四半期連結累計期間比で547百万円増加し、5,117百万円(同12.0%増)となりました。

その他収益は、前第3四半期連結累計期間比で26百万円増加し、101百万円(同34.7%増)となりました。

その他費用は、前第3四半期連結累計期間比で22百万円減少し、31百万円(同41.2%減)となりました。

この結果、営業利益は前第3四半期連結累計期間比で89百万円減少し、1,369百万円(同6.1%減)となりました。

(金融収益、金融費用、税引前四半期利益)

金融収益は、前第3四半期連結累計期間比で10百万円増加し、10百万円(同50,180.9%増)となりました。

金融費用は、前第3四半期連結累計期間比で31百万円増加し、124百万円(同34.0%増)となりました。

この結果、税引前四半期利益は前第3四半期連結累計期間比で110百万円減少し、1,255百万円(同8.1%減)となりました。

(法人所得税費用、四半期利益)

法人所得税費用は、前第3四半期連結累計期間比62百万円減少し、389百万円(同13.8%減)となりました。

四半期利益は、前第3四半期連結累計期間比で48百万円減少し、この結果、四半期利益は865百万円(同5.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(直営美容室運営事業)

直営美容室運営事業につきましては、新規出店に伴う直営店舗増加及び既存店の増収により、美容サービス収益が増加いたしました。また、新規出店及びインボイス制度導入(経過措置適用)が主因で売上原価が増加いたしました。この結果、売上収益は11,113百万円(同6.7%増)、外部収益は11,113百万円(同6.7%増)、セグメント利益は112百万円(同71.2%減)となりました。

(フランチャイズ事業)

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗の新規出店及び既存店の増収により、ロイヤリティー収益が増加いたしました。この結果、売上収益は2,016百万円(同20.0%増)、外部収益は1,195百万円(同23.3%増)、セグメント利益は833百万円(同22.8%増)となりました。

(インテリアデザイン事業)

インテリアデザイン事業につきましては、直営店舗及びフランチャイズ店舗の新規出店により、内装工事等の受注が増加いたしました。また、外部向けで受注した工事の売上総利益率が低かったことから売上総利益率が悪化いたしました。この結果、売上収益は1,772百万円(同7.2%増)、外部収益は1,202百万円(同3.5%増)、セグメント利益は84百万円(同39.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、4,169百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の増加29百万円、営業債権及びその他の債権の増加216百万円、棚卸資産の増加51百万円、その他の流動資産の減少320百万円等によるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ463百万円増加し、20,741百万円となりました。これは主として、有形固定資産の増加124百万円、使用権資産の増加268百万円、無形資産の増加31百万円、その他の金融資産(非流動)の増加40百万円等によるものであります。

この結果、資産は、前連結会計年度末に比べ440百万円増加し、24,910百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ260百万円増加し、5,403百万円となりました。これは主として、営業債務及びその他の債務の増加26百万円、借入金(流動)の増加498百万円、リース負債(流動)の増加101百万円、納付等に伴う未払法人所得税等の減少369百万円等によるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ610百万円増加し、11,246百万円となりました。これは主として、借入金(非流動)の増加413百万円、リース負債(非流動)の増加147百万円、引当金(非流動)の増加50百万円等によるものであります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べ871百万円増加し、16,649百万円となりました。

(資本)

資本は、前連結会計年度末に比べ430百万円減少し、8,261百万円となりました。これは主として、自己株式の取得による減少884百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益による利益剰余金の増加865百万円と配当に伴う利益剰余金の減少422百万円との差額による利益剰余金の増加443百万円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ29百万円増加し、2,355百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は2,331百万円(前年同期は2,113百万円の増加)となりました。これは主に増加要因として税引前四半期利益1,255百万円(前年同期比110百万円の減少)、減価償却費及び償却費1,641百万円(前年同期比150百万円の増加)、営業債務及びその他の債務の増加155百万円(前年同期比130百万円の増加)等に対し、営業債権及びその他の債権の増加216百万円(前年同期比72百万円の増加)、棚卸資産の増加51百万円(前年同期比19百万円の減少)、法人所得税の支払額764百万円(前年同期比240百万円の増加)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は678百万円(前年同期は425百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出603百万円(前年同期比237百万円の増加)、無形資産の取得による支出56百万円(前年同期比41百万円の増加)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は1,626百万円(前年同期は1,747百万円の減少)となりました。これは主に長期借入れによる収入1,769百万円(前年同期は該当なし)に対し、長期借入金の返済による支出1,011百万円(前年同期比524百万円の増加)、リース負債の返済による支出1,219百万円(前年同期比148百万円の増加)、配当金の支払額422百万円(前年同期0百万円の増加)、自己株式の取得による支出884百万円(前年同期は該当なし)等の資金減少要因があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月15日付で公表いたしました2024年10月期通期業績予想に変更はありません。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,325	2,355
営業債権及びその他の債権	938	1,155
棚卸資産	131	183
その他の流動資産	795	475
流動資産合計	4,191	4,169
非流動資産		
有形固定資産	1,497	1,621
使用権資産	4,678	4,946
のれん	8,488	8,488
無形資産	4,390	4,422
その他の金融資産	588	628
繰延税金資産	578	578
その他の非流動資産	56	55
非流動資産合計	20,278	20,741
資産合計	24,469	24,910

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,074	1,100
契約負債	53	74
借入金	1,657	2,155
リース負債	1,434	1,535
未払法人所得税等	406	36
その他の流動負債	515	500
流動負債合計	5,142	5,403
非流動負債		
借入金	5,372	5,785
リース負債	3,179	3,327
引当金	785	835
繰延税金負債	1,297	1,297
非流動負債合計	10,635	11,246
負債合計	15,778	16,649
資本		
資本金	194	194
資本剰余金	5,002	5,001
利益剰余金	3,598	4,041
自己株式	△111	△995
その他の資本の構成要素	7	18
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,691	8,261
資本合計	8,691	8,261
負債及び資本合計	24,469	24,910

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
売上収益	12,543	13,511
売上原価	△6,535	△7,092
売上総利益	6,008	6,418
販売費及び一般管理費	△4,570	△5,117
その他収益	75	101
その他費用	△53	△31
営業利益	1,459	1,369
金融収益	0	10
金融費用	△93	△124
税引前四半期利益	1,366	1,255
法人所得税費用	△451	△389
四半期利益	914	865
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	914	865
四半期利益	914	865
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	60.65	60.72
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	60.21	60.47

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
売上収益	4,365	4,766
売上原価	△2,295	△2,507
売上総利益	2,069	2,258
販売費及び一般管理費	△1,526	△1,739
その他収益	55	67
その他費用	△30	△18
営業利益	568	567
金融収益	△0	2
金融費用	△25	△39
税引前四半期利益	543	530
法人所得税費用	△183	△167
四半期利益	359	362
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	359	362
四半期利益	359	362
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	23.83	25.63
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	23.68	25.53

(要約四半期連結包括利益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
四半期利益	914	865
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	△1	2
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△1	2
税引後その他の包括利益	△1	2
四半期包括利益	912	868
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	912	868
四半期包括利益	912	868

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
四半期利益	359	362
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	2	0
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	2	0
税引後その他の包括利益	2	0
四半期包括利益	361	362
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	361	362
四半期包括利益	361	362

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の 構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	
					新株 予約権	その他の 包括利益 累計額		
2022年11月1日時点の 残高	169	4,977	2,754	—	0	6	7,910	7,910
会計方針の変更による 累積的影響額	—	—	142	—	—	—	142	142
会計方針の変更を反映 した当期首残高	169	4,977	2,897	—	0	6	8,052	8,052
四半期利益	—	—	914	—	—	—	914	914
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△1	△1	△1
四半期包括利益合計	—	—	914	—	—	△1	912	912
新株の発行	2	1	—	—	—	—	3	3
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権の行使	13	13	—	—	△0	—	26	26
剰余金の配当	—	—	△421	—	—	—	△421	△421
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	15	14	△421	—	△0	—	△391	△391
2023年7月31日時点の 残高	185	4,992	3,390	—	0	5	8,573	8,573

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の 構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	
					新株 予約権	その他の 包括利益 累計額		
2023年11月1日時点の 残高	194	5,002	3,598	△111	0	7	8,691	8,691
四半期利益	—	—	865	—	—	—	865	865
その他の包括利益	—	—	—	—	—	2	2	2
四半期包括利益合計	—	—	865	—	—	2	868	868
新株の発行	—	△0	—	—	—	—	△0	△0
新株予約権の発行	—	—	—	—	7	—	7	7
新株予約権の行使	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△422	—	—	—	△422	△422
自己株式の取得	—	—	—	△884	—	—	△884	△884
所有者との取引額合計	—	△0	△422	△884	7	—	△1,299	△1,299
2024年7月31日時点の 残高	194	5,001	4,041	△995	8	10	8,261	8,261

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,366	1,255
減価償却費及び償却費	1,491	1,641
金融収益及び金融費用	93	114
固定資産除売却損益 (△は益)	7	△9
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△144	△216
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△70	△51
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	25	155
契約負債の増減額 (△は減少)	△0	20
その他	△53	282
小計	2,713	3,192
利息の受取額	0	1
利息の支払額	△76	△97
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△523	△764
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,113	2,331
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△365	△603
有形固定資産の売却による収入	44	38
無形資産の取得による支出	△15	△56
差入保証金の差入による支出	△51	△56
差入保証金の回収による収入	14	18
その他	△51	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△425	△678
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	202	155
長期借入れによる収入	—	1,769
長期借入金の返済による支出	△486	△1,011
リース負債の返済による支出	△1,070	△1,219
配当金の支払額	△421	△422
株式の発行による収入	29	6
自己株式の取得による支出	—	△884
その他	—	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,747	△1,626
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△56	29
現金及び現金同等物の期首残高	1,941	2,325
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,884	2,355

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IAS第12号	法人所得税	リース及び廃棄義務に係る繰延税金の会計処理を明確化

IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)の適用により、取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異を生じさせる取引に関する当初認識時の会計処理が明確化され、当該将来加算一時差異と将来減算一時差異について繰延税金負債及び繰延税金資産が連結財政状態計算書にそれぞれ認識されることとなります。

同基準の適用により前連結会計年度の連結財務諸表を遡及修正しております。この結果、要約四半期連結財政状態計算書において、前連結会計年度末の繰延税金資産が123百万円増加、繰延税金負債が32百万円減少、利益剰余金が156百万円増加しております。

なお、上記基準の適用による累積的影響額が反映されたことにより、要約四半期連結持分変動計算書において、前第3四半期連結累計期間の利益剰余金の期首残高が142百万円増加しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは持株会社体制をとっており、当社は持株会社としてグループ経営戦略の策定及びグループ会社の経営指導等を行い、各子会社において事業活動を展開しております。当社グループは、事業の種類別に「直営美容室運営事業」、「フランチャイズ事業」及び「インテリアデザイン事業」の3つを報告セグメントとしております。

直営美容室運営事業は、当社グループにおける直営店舗の運営による美容サービスの提供を行っております。

フランチャイズ事業は、当社グループのフランチャイズ加盟店に対して、経営指導、企業ノウハウ及び教育研修の提供、プライベートブランド商品の販売、材料仕入、広告代理業務、採用、経理や管理業務の代行等を行っております。

インテリアデザイン事業は、美容室等の内装デザインや施工業者のアレンジ等のサービス提供を行っております。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	直営美容室 運営事業	フランチャ イズ事業	インテリア デザイン 事業	計				
売上収益								
外部収益	10,413	969	1,161	12,543	—	12,543	—	12,543
セグメント間収益	—	711	491	1,203	651	1,854	△1,854	—
計	10,413	1,680	1,653	13,747	651	14,398	△1,854	12,543
セグメント利益	392	679	139	1,210	338	1,549	△90	1,459

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、本社管理事業等を含んでおります。

2. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	直営美容室 運営事業	フランチャ イズ事業	インテリア デザイン 事業	計				
売上収益								
外部収益	11,113	1,195	1,202	13,511	—	13,511	—	13,511
セグメント間収益	—	821	569	1,391	731	2,122	△2,122	—
計	11,113	2,016	1,772	14,902	731	15,633	△2,122	13,511
セグメント利益	112	833	84	1,031	389	1,420	△50	1,369

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、本社管理事業等を含んでおります。

2. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

(1株当たり情報)

(第3四半期連結累計期間)

(1) 基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	914	865
期中平均普通株式数(株)	15,074,368	14,260,454
基本的1株当たり四半期利益(円)	60.65	60.72

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(百万円)	914	865
期中平均普通株式数(株)	15,074,368	14,260,454
普通株式増加数		
ストック・オプション(株)	110,558	58,349
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	15,184,926	14,318,803
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	60.21	60.47

(第3四半期連結会計期間)

(1) 基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第3四半期連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	359	362
期中平均普通株式数(株)	15,100,859	14,152,659
基本的1株当たり四半期利益(円)	23.83	25.63

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第3四半期連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(百万円)	359	362
期中平均普通株式数(株)	15,100,859	14,152,659
普通株式増加数		
ストック・オプション(株)	98,265	58,237
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	15,199,124	14,210,896
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	23.68	25.53

(重要な後発事象)

該当事項はありません。